

# やまがら

夏号  
2012年

松山市議会議員  
梶原ときよし

やまがら



毎年、冬には自宅に来てくれます。

## 脱原発で、みんなの安心未来を築こう!

- 天下りや、税金の無駄使いをやめさせ、多くの若者を安定雇用につなげよう!
- 子育て、教育・医療費の市民負担を減らし、幸せに生きる権利と自由を守ろう!
- 電車・バス・フェリーのシルバーバスを実施して、元気な高齢者が活躍するまちにしよう!



発行・梶原ときよし事務所

2011年3月の福島第一原発事故から1年4カ月余、7月16日に東京代々木公園で開かれた「さよなら原発10万人集会」には職業や年齢に関係なく、脱原発への思いを持った17万人もの市民が全国から結集しました。私も参加を致しましたが、かつての安保反対闘争以来最大級の市民集会になったことは間違いありません。もはや民・自・公政権ともいえる野田内閣に対し、「市民の命と生活が第一」を行わせる事はできず、結果的にうそで塗り固めたマニフェストで国民を騙した罪は拭い去ることはできません。

一刻も早く、原発・消費税・社会保障・TPPを争点に解散総選挙を行うべきではないでしょうか。そして真に市民の命と人権、生活を守る政党が出現し候補者を出して、私達市民に選択肢を与えてもらいたいです。

自公と民主による財界と結び付いた二大保守政党化と究極の死票を生んだ小選挙区制を、マスコミによる扇動で選ばされた結果が今日の事態を招いたと言っても過言ではありません。今、一番大切な事は、市民の命や生活よりも利潤追求の自由を優先する新自由主義社会から、基本的人権と幸福追求権を保障する人間尊重社会へと転換する事ではないでしょうか。そのためには、先ずはとりあえず原発の無い日本にして行くしか選択肢は無いと思います。市民が政治を監視し、行動していくことで私達の住む社会は良くなります。一緒に行動しませんか!!

黙認は容認につながります。一緒に行動しませんか!!

「やまがら」夏号「」読んでください。  
\*ご意見、ご感想をお待ちしています。



2012年7月16日 脱原発10万人集会に17万人の市民が集まる(東京 代々木公園)

## 人気のローカルニュース番組「NEWSキャッチあい」にて市議会での論戦が取り上げられました!

愛媛の"今"を切り取る夕方ニュース  
NEWS キャッチあい  
月～金 午後 6:15～  
2012.6.21



### ■放射性物質は到達しない? 6月松山市議会で論戦

- 伊方原発で放射能漏れ事故が起きた場合、およそ60キロ離れた松山市にどんな影響があるのか? 放射能の拡散予測や防災対策をめぐって、議会での市側の答弁が波紋を呼んでいます。
- きょうの市議会・一般質問で、**梶原時義議員**は伊方原発で事故が起きた場合の放射能の拡散予測をめぐりこれまでの市側の説明を「暴論」と批判しました。
- そして、「伊方原発から松山市までおよそ60キロしか離れておらず放射性物質が到達しないはずはない」とあらためて市側の認識をたどりましたが、芳野浩三危機管理担当部長は「県が公開している様々な仮定のSPEED I 予測を参考に、あえて梶原議員が言った南からの風4メートルという限定された条件の下、総合的判断で到達しないとの考えを示した。」と答えました。
- これに対し、**梶原議員**は「南からの風4メートルという条件に限定して判断するのはおかしい」として謝罪を要求しましたが、市側から明確な答弁はありませんでした。
- **梶原議員**は「防災対策に対する意識が欠けている。危機感がない」と批判しています。

※本文はあいテレビのキャッチあいホームページ (<http://www.itv6.jp/catch/>) より転載いたしました。

## 石鎚山クリーンハイキング参加



6月3日(日)、松山勤労者山岳会主催の石鎚山クリーンハイイク(清掃登山)に参加しました。昨年度途中で断念をした経過もあり、参加者の皆さん全員が、今年は何としても登りたいという思いが強かったようです。

私も3年連続の参加ですが、四国最高峰石鎚山(1982メートル)への登頂は、日頃のメンタルストレスを忘れさせてくれ、大自然とのふれあい、様々に変化する景色や空気、それに野鳥たちのさえずりに出会う事のできる貴重な時間で、ほんとうに気持ちのいいものでした。

また、ほんの少しだけゴミを拾って帰ることで山を愛する人になれるかも知れませんよね!

石鎚山クリーンハイイクは、毎年6月の第一日曜日を予定しているようですので、読者の皆さんも一度参加してみませんか。(連絡は梶原事務所まで)

**梶原ときよしの活動予定や市議会のスケジュールはHPでご確認いただけます。**

ホームページ **梶原ときよし** 検索

<http://tokiyoshi.sakura.ne.jp>

「スケジュール」に行動予定と感想を入れていきますのでクリックしてください。

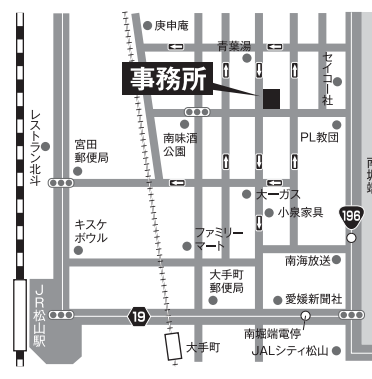
**梶原ときよし事務所**

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2  
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259  
携帯 080-5669-8586

自宅/松山市湯の山4丁目1-5  
TEL/FAX/977-8586  
E-mail [sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp](mailto:sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp)

●午後1時～午後5時まで  
●土・日・祝日はお休みです。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



# 議会公質問

6月議会一般質問より抜粋

2012年6月21日



ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。先日6月10日城山公園で、伊方原発の再稼働に反対する市民集会がありました。

私も参加しましたが、四国4県を中心に中国、九州や関東から1,300人以上の方が集まり、伊方原発の再稼働に反対する決議と、デモ行進を行いました。

集会では福島第一原発事故で避難を余儀なくされている女性から、大飯原発の再稼働を表明した日本の首相に対し、「国民を守らず、電力会社を守り、恥かしくないのか」と厳しい批判が出されました。

福島第一原発事故の原因説明もできず、今現在も放射性物質を世界に拡散させている状況、またそれを閉じ込める能力も手だても持たない原子力安全保安院が、安全宣言を出す。更には現場での地震対策も何もできていないまま、机上の空論で大飯原発再稼働を決めた野田首相、情けないというよりは、はっきり言って犯罪です。民主党のコンクリートから人へ、命が大事、国民の生活が一番のスローガンは何処へ消え去ったのでしょうか。

私達は原子力村に群がる官僚、政治家、御用学者と、そこで暴利を貪ろうとする原発推進の利権集団を追及し、それを擁護するマスコミを許してはなりません。

この国は、侵略戦争や原発推進等、政治権力が国民を不幸にした歴史の反省を、どうして行わないのでしょうか。私には不思議でありませんが、60キロ先に伊方原発を抱える松山市としては、とりあえず伊方を再稼働させず、廃炉にして行くことこそが、本市市民の安心未来を築く原点である事を申し上げまして質問に入ります。



### ①3月議会での市長答弁について

初めに3月議会における、私の原子力防災対策に関する質問に対しての、市長答弁についてお尋ねします。

野志市長は、「近く予想される南海・東南海地震が起きて、伊方原発が福島第一原発事故と同規模の事故となった場合においても、放射性物質は本市までは到達しないものと思われる」と答弁しています。この内容は市議会だよりにも掲載されていますが、とても正気の判断とは思えません。

原発推進派の人でさえいふがる野志市長の議会での発言は、議員と市民を愚弄したものなのか、それとも日本のみならず世界に大恥をかいた発言なのか、真意は解りませんが、どっちにしても黙認する事はできません。

この4月、私は4人の同僚議員と共に本市の姉妹都市であり、世界一の環境先進都市といわれるドイツのフライブルグ市を訪問しました。

フライブルグ市では、1986年に起きたウクライナ共和国のチェルノブイリ原発事故の時、一週間後に放射性物質の線量が上昇したため子ども達が外で遊ぶことを一時禁止したこの話を聞きました。2000キロも離れているよその国の事故にも拘らずです！そこには過去の戦争に対する反省と何よりも市民の命を大切に政治の原点があると思えました。

それに比べ、伊方原発から風が吹けば2時間で届く距離の、たった60キロしか離れていない松山市であるのに、

### ②津波避難対策事業について

「放射線物質は本市までは到達しない」とは正気の判断か  
「標高表示ではなく「海抜」表示標識に統一するべきではないか

### ③奥道後地区の活性化について

「奥道後地区の活性化についてお聞きします。」  
先日、2011年の道後温泉宿泊客が77万人を切ったとの報道がありました。震災と原発事故により国内外からの観光自費が影響した事は間違いありません。

そのような中、年間宿泊者10万人を含む利用者40万人にも及ぶホテル奥道後が民事再生法の適用申請をいたしました。

ホテル奥道後は市民の憩いの場として、また大規模な団体旅行やコンベンション、或いは外国人旅行者の受け入れ施設として、さらには県外からの修学旅行の宿泊に積極的に協力する等、国際観光温泉文化都市・松山の一翼を担ってきた事は間違いありません。

3月議会におきまして、ホテル奥道後の支援策を検討していきたいとの答弁がありました。具体的な支援策ができていまだら教えてください。

もし未だであれば、民事再生法申請中の今、大急ぎに支援策を行う必要があると思いますが、ご答弁をお願いいたします。

今回、新たな国の想定が示されたことにより、官民の連携のもと津波避難対策の充実を図る事業であると考えており、今会議の中でご審議いただくこ

危機管理担当部長答弁



危機管理担当部長答弁

今回、新たな国の想定が示されたことにより、官民の連携のもと津波避難対策の充実を図る事業であると考えており、今会議の中でご審議いただくこ

放射性物質は飛んでこないという、野志市長のとてもない発言と、原子力防災対策費を予算化しないという政策があまりに情けなく、この人にとって福島第一原発事故はまるで猿の惑星での教訓でしかないのではないかと、思うと、ほんとうに悲しくなっています。

もう一度言いますが、野志市長は今現在でも放射性物質は飛んでこない」と答弁を正しいと思っているのか、お答えください。

また、私の再質問に対する答弁で、緊急時迅速放射能影響予測装置「スプーデー」の予測では到達しない」と答えられました。そんなデータがあるのでしょうか。もし存在するのであれば出していただきたい。

それと松山気象台に聞きまして、ら、爆発事故発生時に伊方原発上空で東西6Mの風が吹いていれば3時間、10Mの風が吹いていれば1時間40分で放射性物質は本市に届くと言っています。それが間違いなのか、御所見を求めます。

また事故発生時に、本市市民は本場に逃げる必要がないのか、或いは何所へ逃げればいいのかを、もう一度教えてください。どのくらいと言っていますか。野志市長、これは私達市民の命の問題なんです！

3月議会での野志市長の、不勉強極まりない暴論を市民に謝罪し、今まで唯一の口も取っていない原子力防災対策費を即刻予算化するべきだと考えますが、決意ある答弁を求めます。

### 危機管理担当部長答弁

伊方原発から放射性物質は到達しない」とした答弁及び「スプーデー」のデータ

### ④男女共同参画推進について

最後にありますが、本市の男女共同参画推進についてお尋ねします。

本市の男女共同参画推進条例が施行されて10年になりますが、今日現在におきましても残念ながら、本市の幹部職員に、女性部長が一人も登用されていません。

本議場におきましても、議員の側から本市執行部の皆さんの側を見たら一目瞭然ですが、部長級以上27名全員が男です。真つ黒です！これではどう見ても、お先真っ暗です！

「男女共同参画社会の実現が本市の最重要かつ緊急な課題である」と10年前に位置付けておきながら、その推進役を、果たさなければならぬ幹部職員がこの有り様です。

先ずはその理中責任の所在を明らかにしてください。

野志市長は何とも思いませんか。女性が能力的に男性に劣らないのは明らかであり、女性差別としか言いようがありません。

この事は市長自身の人権意識いわゆる男女共同参画推進意識レベルの低さの表れでありあらゆる差別をなくすための基本である人権同和教育学習を軽んじている事を証明しています。

好き嫌いで決めるのではなく、男女共同参画社会実現に向けて、男女の平等と機会均等を実現しなければならぬのは、言うまでもありません。

また本市男女共同参画推進条例第19条第2項には、「審議会等の構成員任命に際し、男女いずれか一方の構成員の数が構成員総数の10分の4未満にならないように努めるとあり、積極的改善措置を講ずる事としています。

しかしながら本市では松山市文化財

の有無などについてはですが、現在放射性物質の飛散予測については、防災基本計画に基づき、文部科学省の緊急時迅速放射能影響予測システム「いわゆる「スプーデー」が使用されます。

この予測では、放射性物質の放出される高さ、燃焼度、核種などの条件のほか、様々な気象条件が必要とされるため、単に、風向・風速のみの条件で松山市への到達は単純に判断できず、また、現在、松山市への影響を予測したデータはなく、お出しできませんが、愛媛県が公開している様々な仮想的「スプーデー」予測を参考に、「質問の「どこへ逃げればよいのか」を含め、総合的な判断で「到達しない」との考えをお示ししたものです。

### ②津波避難対策事業について

次に6月補正予算案の一番の売りである津波避難対策事業の内、標高表示板の設置についてお尋ねします。

3月議会が私が、市民の津波避難対策と防災意識の向上を目指し、緊急に行うべき具体策として、2012年度予算に「海抜表示標識の設置費を計上するべきではないかと提案した事に対し、市長は答弁で何ら検討約束もせず、予算化を拒否しました。

しかし、その舌の根も乾く間もない6月補正予算案で海抜から標高という頭文字だけを変えて提出してきたのは、どういふ事なのでしょう。何故海抜沿い住民に解り易い「海抜表示」ではなく、なじみの薄い「標高表示」にしたのかを含め以下3点についてお答えください。

一つは、海抜と標高はほぼ違うのか。二つ目は、実際設置する標識にはどちらを使うのか。

一つは、海抜と標高はほぼ違うのか。二つ目は、実際設置する標識にはどちらを使うのか。

保護審議会や監査委員を含め、未だに6月議会67委員で女性の登用がゼロであるのは、異常事態としか言いようがありません。

条例ができて10年が経ちます。いい訳はいりません。即刻改善すべきだと思いますが、野志市長の自覚の答弁を求めます。

そこで私からの緊急提議案として、現在、女性職員を一人も参加させていない実質、男性だけの幹部会になっている庁議に課長級以上の女性幹部職員を入れて、女性の生の意見を市政に取り入れていくべきだと思いますが、いかがでしょうか。市長の所見を求めます。

最後にもう一言一言を言います。

この4月、本市庁舎本館玄関入り口横に男性ばかりの本市幹部職員28人の顔写真が掲げられました。どなたが何のために、提案されたのかは分かりませんが、本市行政組織の男女共同参画推進体制が不十分な現段階においては、配慮に欠けるものと言わざるを得ません。

幹部職員の40%以上が女性になるまでの間、撤去すべきだと考えますが、お答えください。

以上でネットワーク市民の窓、梶原時義の質問を終わります。有難うございました。

総務部長答弁  
女性部長は誕生しておりませんが、これは、女性職員の絶対数が少ない中、地方公務員法第15条に定められている勤務成績その他の能力の美証に基づいて職員昇任を行ってきた経緯であり、議員が言われる言や女性差別人権意識レベルの低さといったことはございません。